

大 学 院 特 別 講 義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究持論)

(医歯理工学先端研究持論)

下記により大学院講義を行います。大学院以外の先生方も是非ご来聴下さい。

記

1. 講師： 大学院非常勤講師（片岡歯科医院）

片岡 博樹 先生

2. 演題： 「保険診療の一環としての歯内療法」

3. 日時： 平成26年3月13日（木） 17：00～19：00

4. 場所： 歯学部第一ゼミナール室 （1号館東7階）

5. 内容：

わが国では、根の治療、根管治療を担当する歯内療法学は歯科保存学の一分野として学生に教育されます。卒業後の臨床では、根管治療は保険診療の枠の中で行われ、その治療に費やす多大な労力と時間の割に保険点数が低いという、非採算部門として認識されています。学生時代に教育されてきた歯内療法学の内容と、臨床で実践される治療内容のギャップに悩む若い臨床医も数多く存在すると思います。一方、欧米の歯内療法専門医はエンドドンティストと呼ばれ、治療には歯科用顕微鏡を使用して多大な時間をかけ、私費で患者から報酬を得ています。近年、わが国でもエンドドンティストが増えつつありますが、大半の臨床医は保険診療の枠の中で、根管治療を行っています。

今回は、保険診療の中で根管治療をどのように効率的に行うかを考察してみたいと思います。

連絡先：歯学教育システム評価学（MDセンター） 荒木孝二 （内4577）